



令和3年度 大石田町民大学「地域学講座」一般公開

# 町出身詩人 佐々木安美の世界

～詩の芥川賞H氏賞受賞詩人 鷹巣出身～

～対談及び演奏に合わせた詩の朗読～

講師 詩人 佐々木 安美氏

**日時** 令和3年10月16日(土)  
午後2時～4時 休憩(換気)あり

**会場** 虹のプラザ 多目的ホール

**対象** 先着80名程度・県内在住の方  
入場無料 ※事前に整理券をお求めください。



【講師プロフィール】

1952年大石田町鷹巣生まれ。高校入学の際に上京。東京都在住。1987年、詩集『さるやんまだ』第37回H氏賞を受賞した。1990年に第4作目の詩集となる『心のタカヒク』を発表。2011年、詩集『新しい浮子 古い浮子』で第20回丸山豊記念現代詩賞を受賞した。2021年6月新詩集『息』出版。

【対談・共演者プロフィール】

☆対談 松下育男氏(神奈川県在住)

1950年福岡県生まれ。1979年、詩集『肴』でH氏賞受賞。2005年、佐々木安美と同人誌『生き事』を創刊する。著書『松下育男詩集』(思潮社)2019年、『コーヒーに砂糖は入れない』(思潮社)2021年 他多数。

☆朗読 酒田詩の朗読会

朗読：阿蘇孝子氏・本間美智氏、ギター演奏：佐々木正氏

酒田市出身の吉野弘が亡くなる2014年から、彼の詩を読む「宝の日」を毎年開催、「奈々子」で知られる娘さんも招いて朗読会を行っている朗読グループ。

☆ダンス 大石田町地域おこし協力隊・ダンサー 大橋武司氏

独自の観点からダンスを切り開く若きクリエイター・コンテンポラリーダンサー。愛知県出身。

**整理券発行場所** 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」事務室

TEL: 0237-35-2094 FAX: 0237-35-3811

**整理券発行開始** 9月13日(月)午前8時30分(開館時間内)

○消毒、検温、間隔を空けての配席、マスクの着用、換気等感染症対策を講じた上で開催します。  
発熱等、体調の悪い方は来場をお控えください。また、状況によっては中止もあり得ますのでご了承ください。

主催 大石田町教育委員会 後援 山形県詩人会

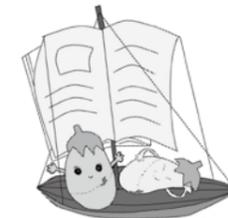
# まちとしよ

～大石田町立図書館 infomation～

☎ 35-3877

公式HP <http://niji.town.oshida.yamagata.jp/library/index.html>

みんなでのりきろう！



■開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)

■休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《10月の休館日》7日(木)・14日(木)・21日(木)・28日(木)

## ～「詩と朗読の世界」特集～

短歌や俳句よりも自由な詩の世界は奥深いものです。秋にじっくり読みたい詩や朗読したくなる詩に出会える本を紹介。



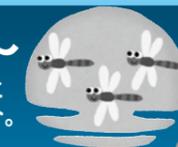
『バウムクーヘン』(谷川 俊太郎著、ナナロク社刊)  
ヒトが木の年輪(バウムクーヘン)のように精神年齢を重ねていくものだとしたら、現在の自分の魂の中にゼロ歳から今に至る自分がいてもおかしくない。ドイツ・ブルーナ装画、名久井直子装丁による、谷川俊太郎の詩集。

『花と木のうた』(吉野 弘著、青土社刊)

生命を根底から捉える山形詩人・吉野弘作品のベスト・セレクション。詩「奈々子」で読まれた娘が編集。

『日本の名詩、英語でおどる』

(アーサー・ビナード訳、みすず書房刊)



鷹巣出身・佐々木安美さんが、10月16日(土)に町民大学で講演します！

## 佐々木安美さん著作紹介

詩壇の芥川賞ともいわれる文学賞「H氏賞」を受賞された佐々木安美さん。『さるやんまだ』のほか、『現代詩文庫 佐々木安美詩集』など、町立図書館ではいくつかの著作を紹介しています。



『ぼくがゆびをぱちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集』

(斎藤 倫著、福音館書店刊)  
詩がもっとみぢかになる。きみとぼくの、20篇の詩をめぐるストーリー。大人も子供も、言葉の楽しみ方を再発見できます。

## 今月は、どの本を読む？

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します！



『ケアマネジャーはらはら日記 当年68歳、介護の困り事、おののきながら駆けつけます』

(岸山 真理子著、三五館シンシャ刊)

【日記シリーズ】第8弾!! 47歳でケアマネになった21年目のベテランが、自身の極限状態の滑稽さも綴る体験記。



『北前船が運んだ民謡文化』

(三隅 治雄著、第三文明社刊)

日本の海運を担った北前船は、品物だけでなく民謡文化も運んだ。各寄港地でうたい継がれる唄々の誕生の背景を、詳細な資料と長年の現地調査をもとに、港町を旅する感覚でまとめた一書。酒田の民謡も紹介。

『まほろばの鳥居をくぐる者は』

(芦原 瑞祥著、KADOKAWA刊)

神社の娘、宮子の初めての友達は「幽霊」だった。宮子は、修験者の弟子となった少年・寛太に「あいつは死んでいる」と現実を突きつけられ、友達を「あるべき姿」に戻すことを決意し…。『カクヨム』掲載作品。



『キャクストン私設図書館』

(ジョン・コナリー著、東京創元社刊)

ハムレットやホームズ、ドラキュラが図書館に住んでいたら……？ 実体化した物語の登場人物たちが住む不思議な図書館を描く表題作ほか、全4編を収録した本にまつわる傑作短編集。



『教科書の外で出会う、ぼくらの身のまわりの理科(14歳の世渡り術)』

(うえたに夫婦著・河出書房新社刊)

森の空気はなぜおいしい？ イオン飲料の「イオン」って何？ なぜ海だと浮きやすい？身の周りの理科の知識が、主人公ポコ太のかわいいマンガで楽しく読める。



『おおきなかぶ～』

(ガタロー☆マン作・誠文堂新光社刊)

おじいさんがはたけをたがやしいくと、おおきなかぶがはえてい…ました!!! ひっぱっても、かぶはぬけ…ません!!! 笑本おかしなシリーズ第2弾!

※すべて町立図書館蔵書